【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第１区分
【発行日】平成18年2月9日(2006.2.9)

【公開番号】特開2005-194979(P2005-194979A)
【公開日】平成17年7月21日(2005.7.21)
【年通号数】公開・登録公報2005-028
【出願番号】特願2004-4418(P2004-4418)
【国際特許分類】
Ｆ０４Ｄ　29/44　(2006.01)
Ｆ０２Ｍ　37/08　(2006.01)
Ｆ０４Ｄ　5/00　(2006.01)
Ｆ０４Ｄ　7/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｆ０４Ｄ　29/44　C
Ｆ０４Ｄ　29/44　E
Ｆ０２Ｍ　37/08　E
Ｆ０４Ｄ　5/00　G
Ｆ０４Ｄ　7/02　A

【手続補正書】
【提出日】平成17年12月19日(2005.12.19)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項１】
円環状に複数の凹所群が形成されているインペラと、
前記インペラを回転可能に収容するケーシングとを備え、
前記ケーシングの「インペラの凹所群と対向する領域」には、燃料吸入口に連通している吸入口側溝と燃料吐出口に連通している吐出口側溝が形成されており、
前記吸入口側溝の「上流端近傍の外側側面」は、インペラの凹所群の外周端より内側の位置でインペラに対してほぼ垂直に形成されている略垂直面と、この略垂直面からインペラの凹所群の外周端に向けて傾斜して形成されている傾斜面とを有することを特徴とする燃料ポンプ。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００５】
本発明の燃料ポンプは、円環状に複数の凹所群が形成されているインペラと、そのインペラを回転可能に収容するケーシングとを備える。ケーシングの「インペラの凹所群と対向する領域」には、燃料吸入口に連通している吸入口側溝と燃料吐出口に連通している吐出口側溝が形成されている。また、吸入口側溝の「上流端近傍の外側側面」は、インペラの凹所群の外周端より内側の位置でインペラに対してほぼ垂直に形成されている略垂直面と、この略垂直面からインペラの凹所群の外周端に向けて傾斜して形成されている傾斜面とを有する。